

H28 妙高西条農園たより

NO. 8

平成28年11月20日 (11月号)

10月中旬に妙高山頂に初雪が観測されましたが、昨日は山麓の標高200m程まで白くなっていました。次の寒波が襲来すれば、当農園の圃場まで白くなるのではと思っています。

今年の農作業を振り返ってみますと、春から夏の初めまで安定した天候に恵まれ、良質の苗も出来、田植えも予定通りに終了し、6～7月の梅雨時期も雨の日が少なく水不足が心配されるほどの高温と晴天の日が続いたことから、稲の生育も順調に進みコシヒカリの出穂も1週間ほど早まりました。

しかし、8月下旬から一転して台風が日本列島に接近上陸するようになり雨の日が多くなってしまいました。前述しましたように、秋の収穫期も予定では1週間程早く9月上旬から初めて9月下旬にはハサかけ米を含め全ての作業が終了する予定でしたが、天候不順の関係で全ての収穫作業が終了したのは10月中旬となってしまいました。そんな中、9月26日には東京近郊の皆様から稲刈りハサかけ体験作業の応援をいただき収穫作業を応援していただいたことから今年の「自然乾燥ハサかけ米」が例年より20%ほど多く生産出来ました。

全ての収穫作業を終えてコンバインの整備作業

初めて咲いたウコンの花

籾殻を全て燻炭に焼きました



今年初めてウコンを栽培しました。



ウコンの花が5輪咲きました



もみ殻燻炭、米糠、鶏糞、ケイ酸等の有機肥料を収穫の終わった圃場に、来年の稲作りの準備作業のため、今年購入したトラクター用肥料播き機で、秋まきを行いました。

今回播いた有機肥料等

今年入れ替えた肥料播き機

トラクターによる肥料播きの状況



贈答用「自然乾燥ハサかけ米」専用袋詰め



今年のコシヒカリも前述しましたように、稲作りの前半は天候に恵まれたことと、新たに投入した有機肥料、ケイ酸、ウットンバイオスター、HB-101、等により普通乾燥米はもとより「自然乾燥ハサかけ米」は一段と美味しく仕上がっています。「自然乾燥ハサかけ米」も皆様の協力により今年は例年より20%ほど多く生産出来ましたので、この美味しいコシヒカリを、友人知人の皆様にもご賞味いただきたく思っています。御歳暮等の贈答品として、ご利用いただきたくお願い申し上げます。「自然乾燥ハサかけ米」は別途ご予約をいただいておりますもの以外は、在庫がなくなり次第発送を控えさせていただきます。

発行者: 〒944-0023 新潟県妙高市西条755

妙高西条農園長 池田博子

☎ 0255-72-3497 fax 0255-72-2908

URL: <http://www.kanta.jp> E-mail: ikedata@kanta.jp

営業広報担当: 池田 肝太

携帯: 090-7225-2238

今年の「妙高西条農園たより」も今月号をもって冬の農閑期となりますので休刊とさせていただきます。今年も、農園たよりをご愛読いただきありがとうございました。来年は4月号より再発行いたします。